

第7回 山口市中心市街地活性化協議会(要約)

1. 日 時 平成19年7月12日(木)19:15～20:30
2. 場 所 山口商工会議所4階常議員会室
3. 出席者 構成員8名、その他4名、事務局2名 以上14名
4. 内 容

はじめに中野会長より、中国地方商工会議所連合会で中心市街地活性化基本計画について発表してきた旨の挨拶の後、事務局より今回の人事異動により新しく委員として出席された西日本旅客鉄道部(株)山口鉄道部長代理の坂本壽雄山口駅長の紹介があった。

【協議事項】

1. 専門部会構成(案)について

事務局より、専門部会構成(案)について資料に基づき説明。3つの専門部会の部会長については、第1専門部会が、山口中心市街地まちづくり推進協議会の中村好文会長、第2専門部会の部会長が、NPO法人山口まちづくりセンターの内山秋久副センター長、第3専門部会が、山口市消費生活研究会の吉富崇子代表を指名することが提案され、承認された。また、委員については、別紙の通り指名することが提案された。主な意見は次の通り。

他団体の委員会等との連携の仕方については、「山口情報芸術センターと大内文化ゾーンと中心市街地を繋ぎ中心市街地の賑わいを創出するためにはどうすればよいか」というテーマについては、山口商工会議所にある「山口都市核づくり委員会」の委員長に当協議会委員が就任されているので意見反映はできると考える。山口市で実施予定の2つの委員会については、当協議会の構成メンバーから委員を出すことになっている。会議所の委員会は、構成員が所属しているので連携できると思う。「中心市街地に設置する交通拠点機能について」というテーマについては、直接委員の派遣等はないので事務局を山口市や会議所が行っており、各委員会の会議報告という形しかないので検討を要する。山口市では、当委員会から「まちと文化推進事業」については1名、中心市街地情報提供事業については、3名の委員に就任依頼予定である。

まだ専門部会に指名されていない委員に希望をとって早急に専門部会を立ち上げて欲しい。

2. 平成19年度収支予算(案)について

事務局より、資料に基づいて収支予算(案)について説明し承認された。主な意見は次の通り。

事業を遂行していく中で困った時にどこに予算計上をすればよいか。各商店街の組合で予算組をして自前で行うことも考えられるが、それでは、中心市街地活性化協議会が存在する意味がない。中心市街地活性化協議会の位置づけとして中心市街地活性化の一番上位に位置付けられているので、重要であり事務局の強いリーダーシップを望む。

山口市から活性化協議会への助成金については、タウンマネージャー設置をすることを計画していたので、市として予算をとっているが、その予算分を有効に活用することができるのでは

ないかと思う。

協議会としても具体的な動きができるように、会費以外の財源を検討したい。

3. その他について

どうもんビルの解体は予定よりも早く終了した。26日に起工式を行う予定にしている。ビルは2階建てである。シンボルマークとして象のオブジェを考えている。象のオブジェにペットネームを一般公募で付けることを考えている。建築確認は終了したので事業実施に特に問題はない。皆さんの知恵を屋上の広場についてお願いしたい。佇む場所、憩いの場所、自然がある空間を考えている。川沿いに藤棚を作ることも考えている。桜に続いて5月には、藤の花を見ることができるようになればと思う。屋上には、砂場、小山、滑り台を予定している。診療所の打診もある。内科医からの打診が多い。オープンまでに埋まるものから埋めていく。山口市以外からの打診がある。

一の坂川のお局橋のところの工事が始まっているが、10月頃から山口県の方で河川の水が少ない時期に橋の撤去作業が始まる。来年の今頃まで工事がかかると思う。仮の橋は作らないですぐに新しい橋を設置する予定である。山口市の事業としては、会議所前の道路の美装化を行うので説明会を盆明けに開催予定である。9月から工事に入る。

中心市街地活性化基本計画の印刷をしている。週明けに納品予定であるので納品されたら委員には配布する。

以上